

名家連ニュース

平成 28 年 10 月 7 日 (金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 426 号

～こころの健康を願う家族と市民のつどい～

第27回家族交流事業「晴れときどき虹」開催



出演者の皆さん
上：杉の子倶楽部
(杉田病院)
左：レタドール
(親愛の里)
右：西研教授
(東京医科大学)
(哲学教室)

10月1日(土)、中区役所ホールに家族・本人・医療や福祉支援者(行政含む)・市民など220名が参加しました。アンケートは97枚回収できました。



中日新聞 平成 28 年 10 月 2 日 (日曜日) 朝刊記事

精神障害者の 家族らが交流

中区で催し

精神障害者の家族や市民の交流イベント「晴れときどき虹」(市精神障害者家族会連合会など主催、中日新聞社会事業団後援)が1日、中区役所ホールであり、家族ら二百人が参加した。

オープニングで、精



「互いの思いを出し合っ
とが大切」と呼び掛ける西
さん。中区役所ホールで

神障害者らが歌や音楽を披露した。講演では、東京医科大学の西研教授が「支援のための人間学」言葉のやりとりが創り出す信頼関係」と題して話した。

西さんは、障害者が集団生活する施設などで、幻聴で夜中に騒いだり、トイレを汚してしまったりする利用者がいることを例に挙げて説明。「利用者が自分の思いを安心して発言し、みんなが受け止められる環境が重要。互いの事情や考えを共有することで『みんな協力していこう』という助け合いの気持ちが生まれる」と話した。